

## 「井戸」一斉学習①

丑は、近づいてくる頭の上の円い光を見上げながら、口笛をふきふき上って行った。

(板書)

フウとためいき

「おらやだよ」とつぶやいた

とうとう何にも言わなかった。



口笛をふきふき

T どうして、こんな、明るいたのしげな丑になったのか、という問題です。今までの勉強のまとめのつもりで自分の考えを書いて下さい。

もう、おそらく「仕返しをしてすつとしたから」という考えだけではなくなっているとします。

C (ノートに自分の考えを書く)

T じゃ、一番に意見を言いたい人。

大輔 丑は井戸の中でみんなをいじめたいうか、みんなをやっつけたみたいで、みんなのできひんことを自分一人でやりとげたさかいな、それがうれしい。

T みんなにできないことをやった。

裕幸 近い。あのな、丑を馬鹿にしていたやつらはな、井戸に入らんかったな、丑をいれたやろ。みんなのこわがってできんかった仕事を丑はやりとげた。ほこで、もうみんなを越したという喜びで明るくな

った。

T 今まで自分は下だと思っていたけど、みんなのできないことをやって、みんなを越えたんだという自信。

力 安田君ににてる。丑はもう自分に自信がついて、あんなやつらなんかもうどうもないという気持ちで口笛を吹いた。

智美 自分が…みんなができひんことを自分がやりとげてさかいに、自分に自信がついてうれしい。

寛子 丑は今まではな、丑をいじめてた子供はな、丑が井戸の中に入ってみんなはこわいやん。ほやけど丑は、みんなにできないことができたからうれしいという気持ちもあって

T はい、じゃそれと違う意見の人。 美希

美希 「上から三つ四つ小さい顔」のところでかわったと思うんやけど、みんなは弱虫だなあ、というか、みんなより上だと思うようになって明るくなったと思う。

T みんなの弱さが見えてきた。

はい、これに近い人。

保 自分はいっているのに、みんなは上で心配そうに見てるだけやん。みんなは弱いやん。それが、井戸の中に入ってわかったさかいな、これから、上に行ってもみんなは弱いてしってるさかいな、何言われても別に気にせんといられるでな、ほんで楽しい

真ひと 丑は、井戸の中でな、みんなは本当はいばってるけど本当はな、弱い弱い、自分より弱い、ていうことがわかった。

T うん。みんなの正体。みんなの弱い正体が見えた今までは、おびえてたんですね。みんながすごい、おれはだめだって。それが、かっこうはつけてるが、実はおくびょうなやつらなんだ、ということがはっきり見えたか

ら、もう、上にあがったって、今までみたいに、おどおどしないだろう。

菜穂子 みんなは、フットボールの皮とは知らんけどな、丑は知ってるやん。ほんで丑は、死んだねこつこて言うたら、みんなは……

T 死んだねこつこてやんす、というみんなおどおどしている。そういう先生たちの姿が目に見えて、「なんだ」て正体が見えた。

大輔 みんな、丑が「ねこつこてやんす」ていうたら先生も驚いておろおろしてるやん。みんな、丑にやらせといて、最後にはいばってたけど、猫って聞いただけでおろおろしてるのを聞いて馬鹿馬鹿しくなった。

T みんながおそれるに足らんと見えてきた。

和幸 みんな、井戸に入る前は丑をいじめてたやん。水くみさして。それで、いばってたのにな、井戸入って「死んだ猫つこてやんす」て言うたら気持ちわるそうに、こわそうに言うてるさかいに、みんな弱いなて。

T はい、じゃ、そのグループの人はそれでいいですか。また、違う、という人。哲郎は？

哲郎 ぼくはさつきといっしょやけどな、みんなは口だけで、気が弱い。

智士 今はつきりわかった。みんなが憶病だつて。

浩生 みんなは井戸に入れへんけどな、丑はみんなにできないことをやったから。

善崇 井戸に入るのを丑になすりつけてな、みんなはできひんことをしたさかいにな、みんなは憶病だと思ってる。

T はい、まだある？

明子 みんなは最初はこわがって入れなかったけどな、丑は入って強くなったからな、前はみんながこわかったけど、もうへっちゃらになったで、うれしい

T 自分が強くなってることへのうれしさ。

明子のは、ちよつとちがうね。自分が強くなって前の自分とちがう自分になってることがうれしい。

佐夜子 みんなにできひんことが自分だけにできたでうれしい。

T 自信ね。前は、まったく自分に自信のもない丑だった。人から文句いわれても、どうせ不器用だししかたがない、て自分にあきらめてた。ところが、おれだつて、できるんだ、ていう自信からくるうれしさ。

真人 丑はうれしくてな、ほんな口笛なんか、井戸に入れんときはな、まだ、みんなにいじめられてたときにはな、口笛なんか、吹いたらみんなにおこられるかもしれんて思つてけど、初めて自分から吹いた

T 初めて自分で口笛を吹いた。

裕幸 そういう明るい気持ちになつたのは初めて。

T 今真人がいつてるのは、今まではみんなにおびえてて、自分を出す、ていうことがなかったんじやないか。それが自分を出してきたんじやないか。

幸則は？

幸則 なんか、だましたけど、これから上いっただらどうなるかなつて。

T これから先のこと考えておもしろがつてる？

うん……これから先のこと。「近づいてくる頭の上の円い光」「光」ってというのが、丑にとって何か、感じられない？

C s 心

和幸 今までの憶病な丑がどこかへいってな、元気な明るい丑に変わった。

T うん、明るい丑の心。これからのあかるさを表しているようにも見えるね。

勇也 はげましてくれるんや。

T そうもしれない。和美は。

和美 丑は前はいいじめられてもだまってたけど、井戸に入ってから心の中どなったり だましたり、……

T 和美のいいじめたいことは、みんなに向かつていく丑になつて、ということかな。

はい、もう他に。特に言いたい、という人。

裕幸 なんか、ほういうあかるうなつたんとちごてななんか、こんな弱いやつらにいじめられててな、なんか、あきれてる、そういうのもあると思う。

勇也 なんかわからんけど、丑はそんな弱いやつらに負けてたらあかん、という気持ち。

C 決心

力 おれは、もうみんなより格段と強くなったという気だな、もう、上にいっただら番長やつて。

T どうなん？上にいっただら丑は番長になる？

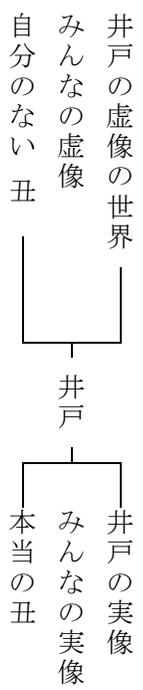
丑は、不器用だったのが器用になる？

和幸 丑は前のままやけどな、性格がちよつと変わる

晃典 あんな、自分はな、みんなができたさかいな、ほんで、井戸に入ってみんなが弱いというこ  
とがわかった。ほんで、上に行っても器用にはならへんけど、みんなの文句とかにはたえられるん。

T そうそう。晃典が大事なこといいましたね。何もかわらへんけど、耐えられる丑になる、て。  
和幸 前はためいきついてたけど、元気うか。

T (このあと、井戸の構成についてまとめの話をし  
ておわる。)



自分のない丑